

八幡平市において地方自治体地熱研究会を開催

モデル地区に認定された岩手県八幡平市において、令和3年11月10日（水）～11日（木）の2日間の日程で「地方自治体地熱研究会」を開催しました。

本会は、以下2点を目的としています。

（1）地熱発電による地域の産業振興モデル地区に認定された八幡平市の取組を他の自治体に知ってもらうとともに、自治体間の交流を深め、今後の地熱開発の促進に資する機会を創出すること。

（2）地熱モデル地区をPRし、同地区の認知度向上を図ること。

令和2年度第1回の秋田県湯沢市に続き、今回は2回目の開催です。

全国22自治体（八幡平市を含む）から参加があり、JOGMEC地熱資源開発アドバイザリー委員も同席の上、初日は八幡平ライジングサンホテルにて、八幡平市役所の講演とJOGMECの発表に加え、各自治体の事前アンケート結果を基にしたグループワーク形式の意見交換を行いました。

2日目は、松川地熱発電所、地熱染色研究所、八幡平スマートファーム及び八幡平温泉開発と、八幡平市の地熱資源を活用した産業振興の取組を見学いただきました。

JOGMECでは、地熱モデル地区の取組の横展開を目指して、今後も取組を進めていきます。



八幡平市役所ご担当者 講演



グループワーク



松川地熱発電所



地熱染色研究所



八幡平スマートファーム バジル栽培